

## 1 説明会・意見交換会の概要

### 開催日時・会場

- ①R6.5.8(水) 9:30~11:45 総合教育センター 講堂
- ②R6.5.8(水) 13:30~15:45 伊那合同庁舎 講堂

- ③R6.5.10(金) 9:30~11:45 長野県庁 講堂
- ④R6.5.10(金) 14:00~16:15 佐久合同庁舎 講堂

### 参集範囲・出席者

- ①市町村…………… 57人
- ②児童養護施設・乳児院・FH等…………… 40人

- ③登録里親…………… 4人
- ④保健福祉事務所・児童相談所・県庁関係課… 22人

合計:123人

## 2 主な意見・対応案

### 主な意見

#### 基本的考え方(計画理念)

- パーマネンシー概念がわかりにくい
- (パーマネンシー保障によって目指す)児童の心身の健やかな成長・発達・自立は何のためなのか



### 計画策定に当たっての対応案

- 「パーマネンシー保障」については計画での用語解説等により、理解促進を図る
- 児童の心身の健やかな成長・発達等の先に目指すものを計画に記載することを検討

#### 市町村のこども家庭支援体制の構築等

- ショートステイをはじめとした家庭支援事業の担い手確保が課題
- 児童家庭支援センターでの相談件数が増えてきており、現行体制ではこれ以上の対応は困難



- 市町村におけるこども家庭センター設置や家庭支援事業の推進に向けた支援について計画へ記載
- 児童家庭支援センターの設置数を含めた整備目標については、計画策定の過程において検討し、計画へ記載

#### こどものパーマネンシー保障

- 児童相談所の体制づくりが課題
- 施設による退所者への支援に対する公的支援があると良い



- いわゆる「関係性のパーマネンシー」確保に向けた取組についても計画への記載を検討
- 児童相談所における体制づくりについては計画へ記載

#### 里親等への委託推進

- 委託だけでなく、ショートステイ等の担い手となる里親も必要
- 里親同士の交流が少なく、里親と地元市町村の関係が薄い
- ファミリーホームにおける第三者評価の導入が必要



- 里親等支援体制の構築(里親同士の交流を含む)について計画へ記載
- 里親リクルート段階からの市町村との連携について計画へ記載
- ファミリーホームにおける第三者評価導入は計画への記載を検討

#### 施設の小規模かつ地域分散化、高機能化及び多機能化・機能転換

- 人材確保、人材定着、専門性の向上が必要
- 施設の養育力を高めなければ、多機能化等はやできない



- 人材確保、人材育成に対する支援について計画へ記載
- 各施設が「地域の社会的養育を支える専門的な拠点」に変革するための取組への支援について計画へ記載を検討